

証券コード：6567
2023年7月19日

2023年5月期 決算説明会資料



株式会社 SERIO ホールディングス
代表取締役社長 若瀨 久

家族を笑顔に!
serio

1. **会社概要**
 2. **2023年5月期 業績概況**
 3. **セグメント別 業績概況**
 4. **2024年5月期 通期業績見通し**
 5. **株主還元**
 6. **事業環境**
 7. **中期経営計画（2024～2026）**
- 参考資料**

Vision

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」

Mission



仕事と家庭の両立応援



未来を担う子どもたちの成長応援

就労と育児の両面から女性の活躍を支援

働く『機会』の創出

パートタイマー型派遣で
ライフステージに合わせた働く「場」を提供

就労支援事業
(派遣・請負・紹介)

働く『環境』の創出

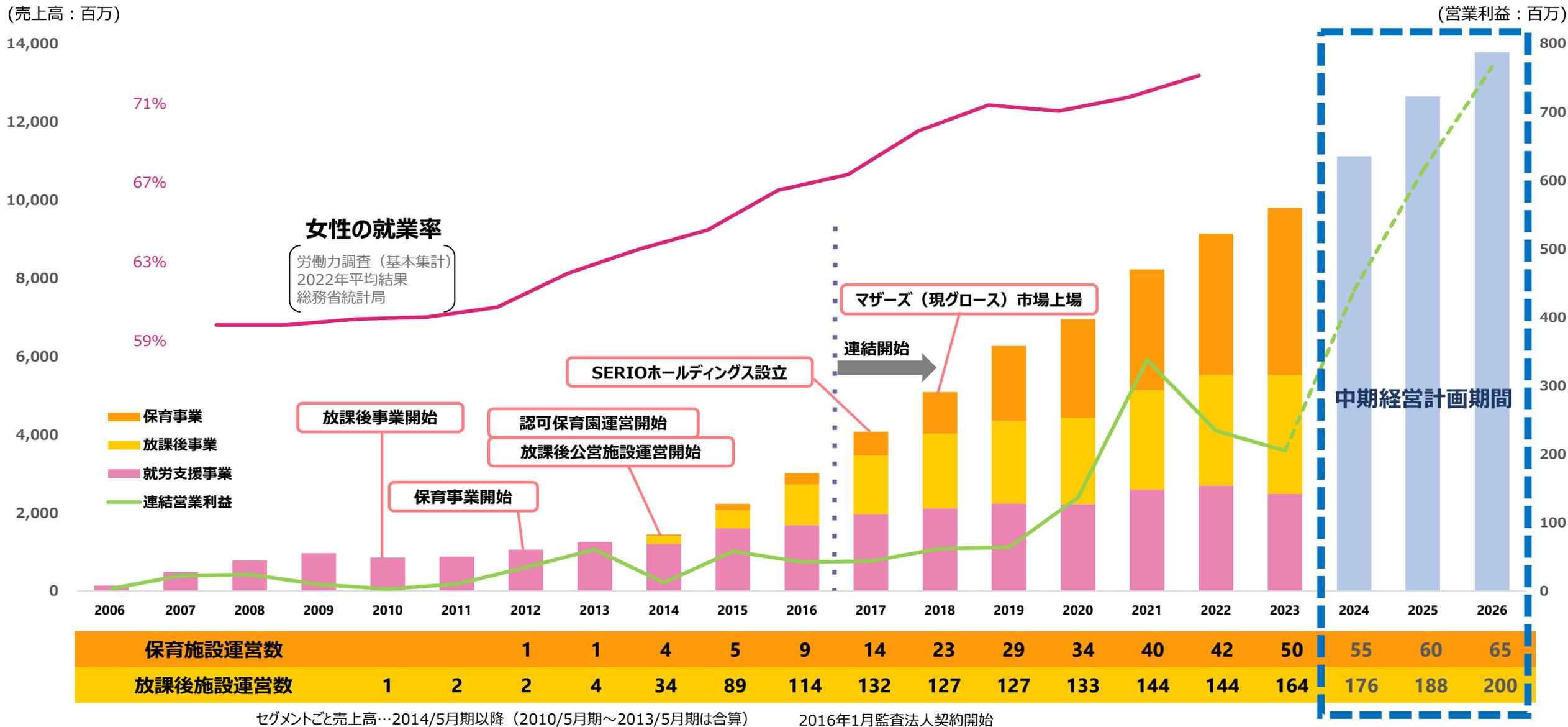
子どもたちの安心・安全な
居場所を提供
働く「時間」を創出

放課後事業
(学童クラブ運営)

保育事業
(保育園運営)

緑化事業
(園庭芝生化)

保育セグメント



セグメントごと売上高…2014/5月期以降（2010/5月期～2013/5月期は合算）

2016年1月監査法人契約開始

・過去最高売上 対前年で増収減益

放課後事業及び保育事業において2023年4月に新規開設した施設及び既存施設で積極的な児童受入れが大きく寄与し増収。放課後事業及び保育事業では増収増益となったものの、就労支援事業における前年の大型案件の剥落に加え、上半期の新型コロナウイルス感染症の影響等による減収影響により連結合計では減益となった。

売上高 9,792百万円 (前年同期比+7.2%)

売上総利益 1,701百万円 (前年同期比+4.3%)

営業利益 204百万円 (前年同期比△12.5%)

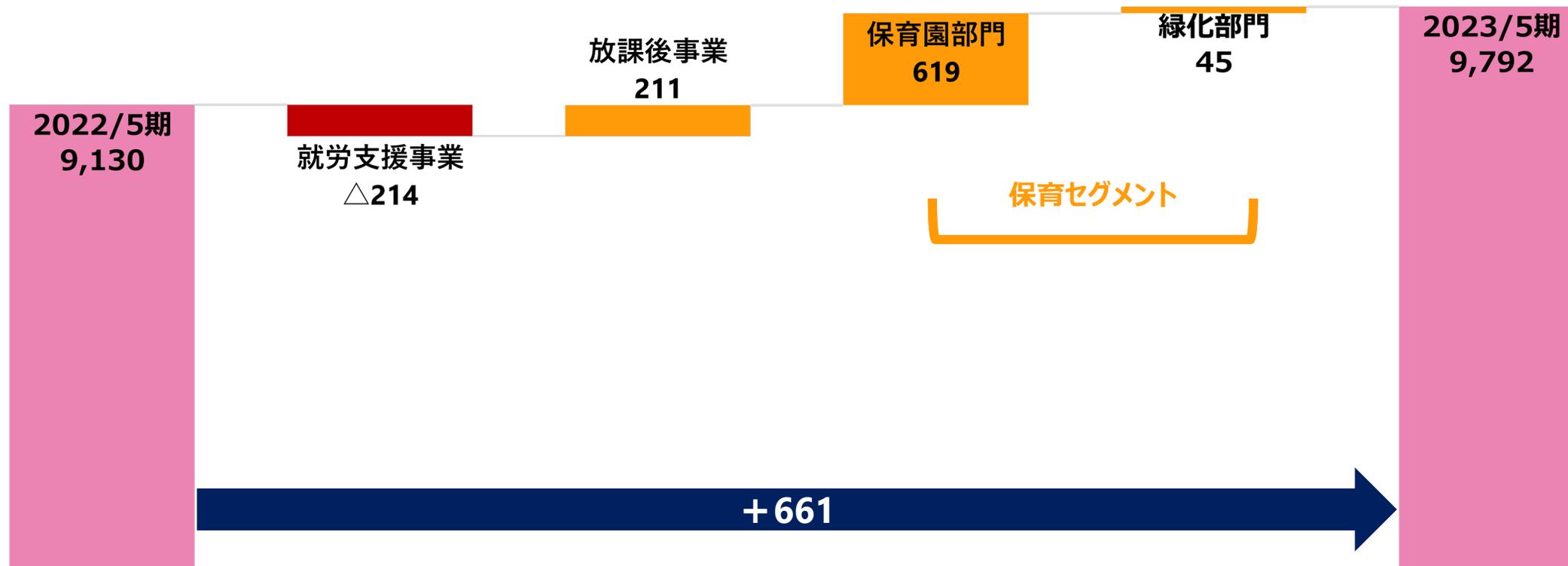
経常利益 210百万円 (前年同期比△22.8%)

(百万円)

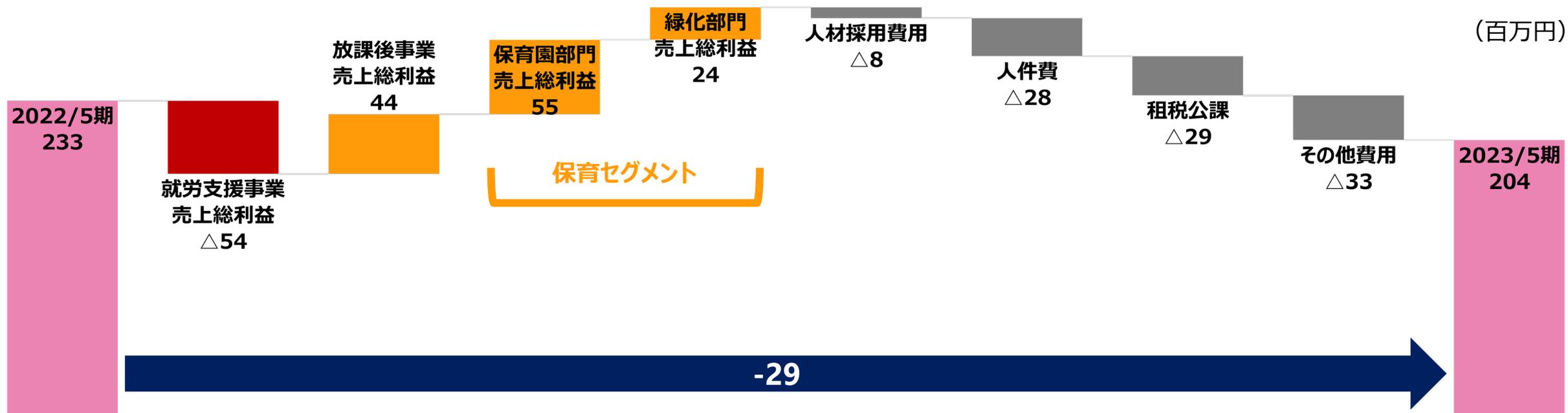
	2023/計画 ※2023/1/13公表	2023/5月期 累計実績	構成比	前年同期比 増減率	通期計画 達成率	2022/5月期	
						実績	構成比
売上高	9,640	9,792	100.0%	+7.2%	101.6%	9,130	100.0%
就労支援事業	2,550	2,480	25.3%	-8.0%	97.3%	2,694	29.5%
放課後事業	2,910	3,036	31.0%	+7.5%	104.3%	2,824	30.9%
保育事業	4,180	4,275	43.7%	+18.4%	102.3%	3,610	39.5%
売上原価	8,022	8,090	82.6%	+7.9%	100.9%	7,499	82.1%
売上総利益	1,618	1,701	17.4%	+4.3%	105.1%	1,631	17.9%
販売費及び 一般管理費	1,458	1,496	15.3%	+7.1%	102.6%	1,397	15.3%
営業利益	160	204	2.1%	-12.5%	127.9%	233	2.6%
経常利益	165	210	2.1%	-22.8%	127.4%	272	3.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	108	136	1.4%	-21.3%	126.4%	173	1.9%

✓放課後事業の利用児童数増加に加え、園児数増に伴う保育園部門の売上が増加

(百万円)



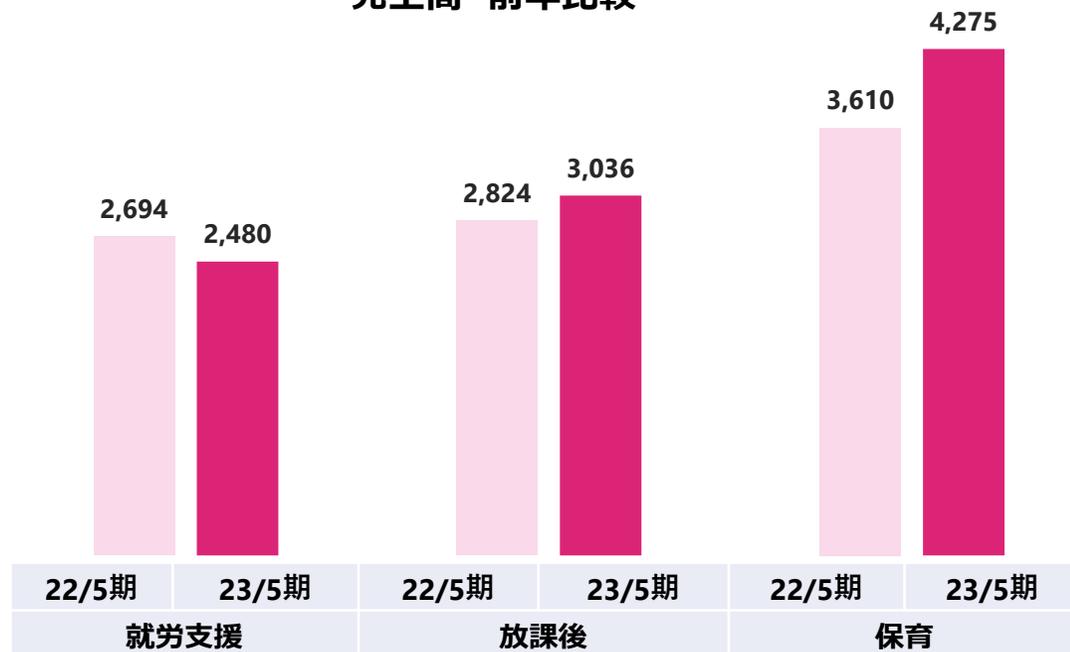
就労支援	前年の大型案件の剥落影響170百万円に加えコロナ影響40百万円（既存スタッフの欠勤、受託先のサプライチェーン混乱等）
放課後	2023年4月新規開設施設および既存施設にて1施設あたり利用児童数が増加
保育	新設園の利用園児数の増加、既存園の年間を通したきめ細かい園児数増加策が寄与、職員の処遇改善による補助金増



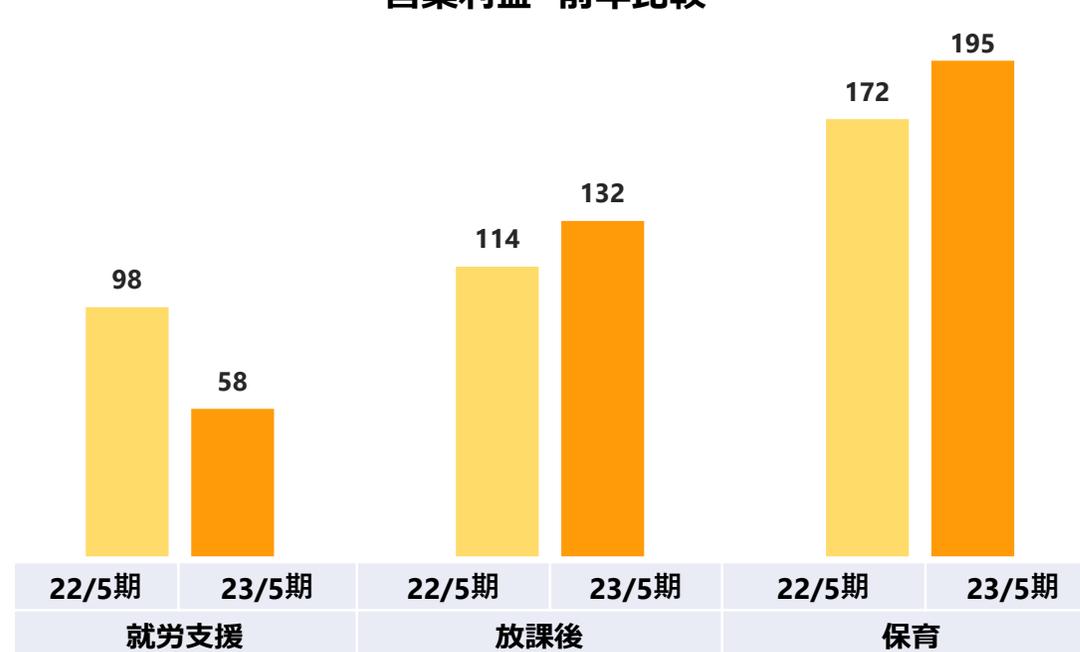
セグメント	前年比	売上総利益
就労支援	△54	減収影響
放課後	+44	2023年4月新規開設施設および既存施設の利用児童数増加により採算が良化
保育	+80	園児数の増加による増収および緑化部門の売上伸長

科目	前年比	販売管理費
人材採用費用	△8	放課後の夏休み期間対応人員の採用費用及び新規施設開設に向けた採用費用の増加
人件費	△28	ドミナント展開に向けた本部人員増強 前年比+3.0%
その他費用	△33	・請求システム刷新等 支払手数料 前年比+13百万 ・旅費交通費 前年比+7百万

売上高 前年比較 (百万円)



営業利益 前年比較 (百万円)



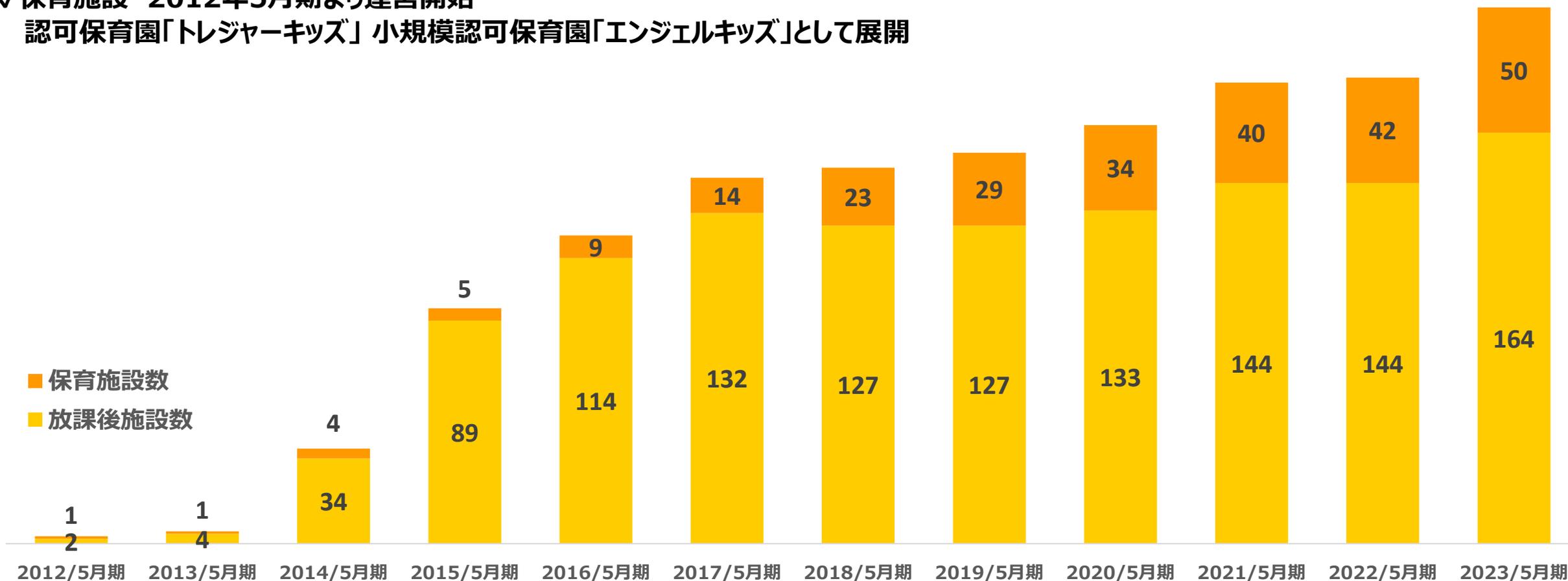
セグメント	売上高	営業利益
就労支援	↓ 前年の大型案件の剥落影響170百万円に加えコロナ影響40百万円（既存スタッフの欠勤、受託先のサプライチェーン混乱等）	↓ 減収影響
放課後	↑ 2023年4月に新規開設した施設および既存施設にて1施設あたり利用児童数が増加	↑ 2023年4月新規施設開設で労務費や採用費用が増加したものの、1施設あたり児童数が増加し採算が良化
保育	↑ 新設園の利用園児数の増加、既存園の年間を通したきめ細かい園児数増加策が寄与、職員の処遇改善による補助金増、緑化部門の売上増も寄与	↑ 園児受け入れに向けた労務費や本部人員増強による人件費増を増収効果が上回った

✓2023年5月末現在、放課後164施設、保育50施設 計214施設運営（前年比+28）

✓放課後施設 2010年5月期より運営開始

✓保育施設 2012年5月期より運営開始

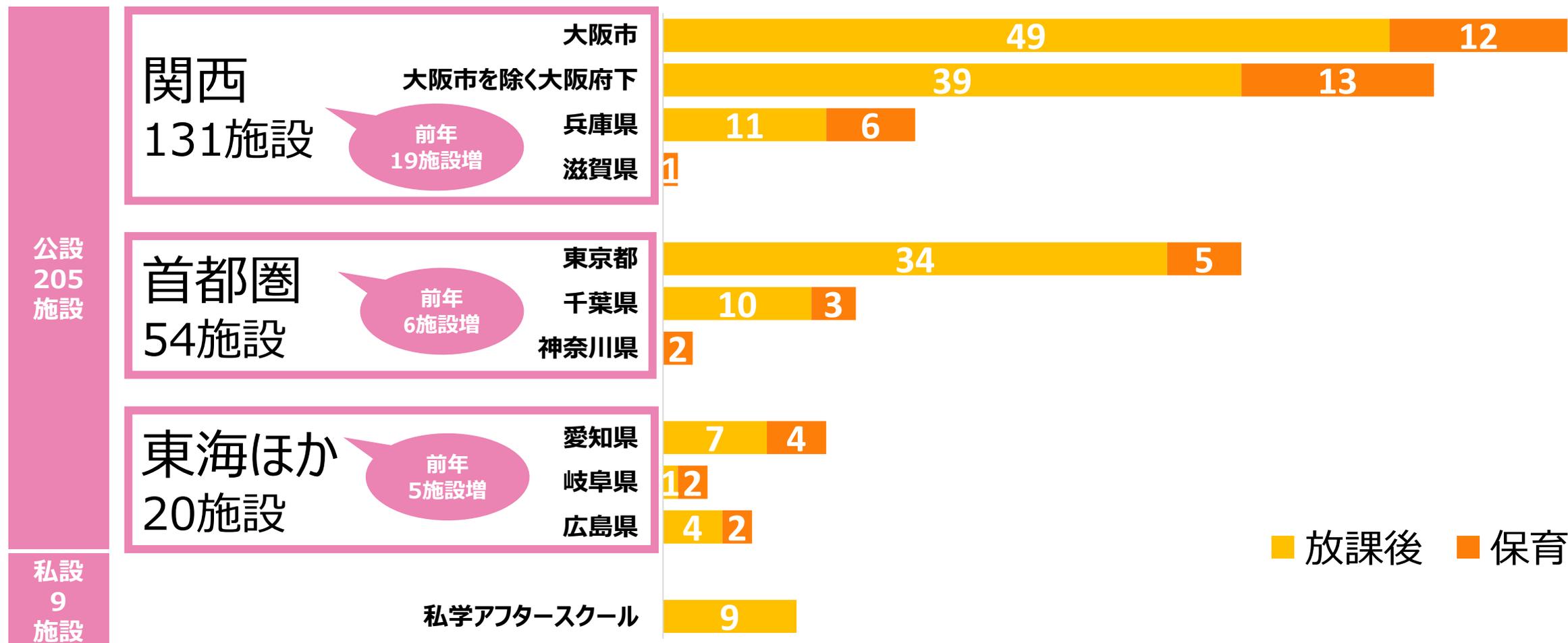
認可保育園「トレジャーキッズ」小規模認可保育園「エンジェルキッズ」として展開



当社運営施設の内訳（2023年5月末現在 計214施設※うち公設は以下枠囲み205施設）

✓ビジネスモデル上、4Q（4月）に新規開設が集中する

✓関西、首都圏を中心に事業を展開。参入障壁が高い自治体向けビジネスにおいて、競争力となる豊富な運営実績を有する



✓2023年5月期 緑化事業初の黒字化達成

✓AIロボット芝刈り機＋自動散水システムにより、旧来の芝生管理コストの大幅削減を実現

✓施工顧客のメンテナンスはストック型のため安定収益を見込む

(施設数)

50

＜新規施工数と累計メンテナンス数の推移＞

■ 新規施工数

■ 累計メンテナンス数

40

30

20

10

0

2021/5期

2022/5期

2023/5期

2024/5期

計画

サービス開始

黒字化達成

- ✓売上高、利益ともに過去最高の更新を見込む
- ✓2023/5月期中に不採算の事業や施設の撤退を完了し 利益率は改善する見通し
- ✓ICT化やドミナント展開による効率化の進展により販管費率の改善を計画
- ✓持続的な成長を見据え、新規事業、人材投資、ICT投資などは継続する

(百万円)

	2024/5期計画	構成比	前年増減率	2023/5期	
				実績	構成比
売上高	11,110	100.0%	+13.5%	9,792	100.0%
売上原価	9,067	81.6%	+12.1%	8,090	82.6%
売上総利益	2,043	18.4%	+20.1%	1,701	17.4%
販売費及び 一般管 理費	1,604	14.4%	+7.2%	1,496	15.3%
営業利益	439	4.0%	+114.5%	204	2.1%
経常利益	407	3.7%	+93.6%	210	2.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	264	2.4%	+93.6%	136	1.4%

✓全セグメント二桁成長を実現し過去最高の売上高を見込む

- ・就労支援…派遣スタッフ獲得強化と新規顧客開拓を両立させ増収を計画
- ・放課後・保育…2023年4月新規開設施設の増加が売上に寄与する見込み

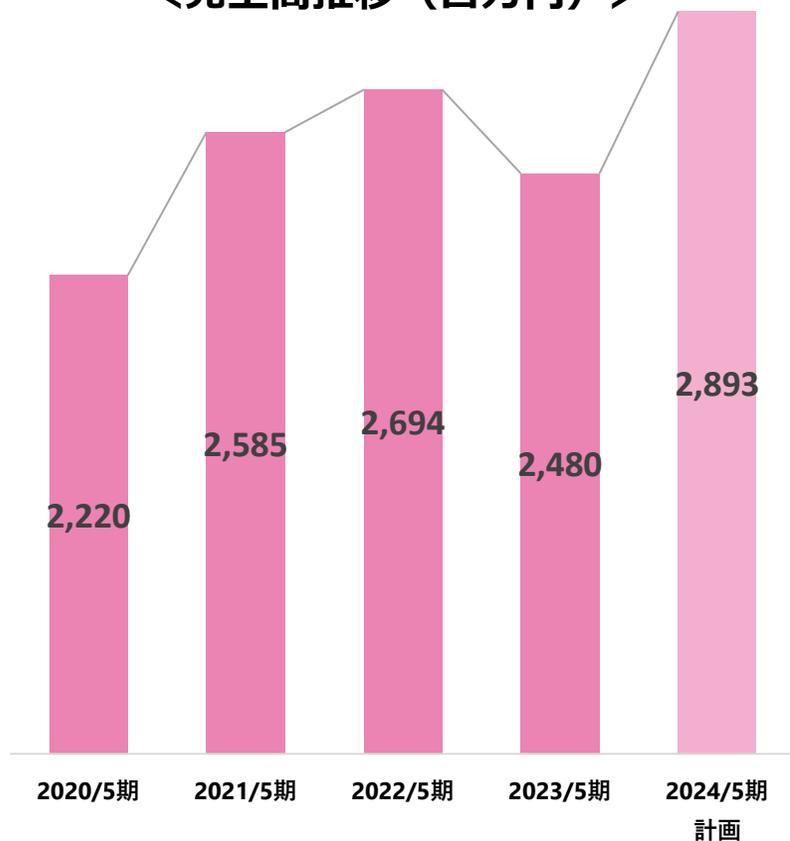
(百万円)

	2024/5期計画	2023/5期実績	増減率
就労支援事業	2,893	2,480	+16.6%
放課後事業	3,410	3,036	+12.3%
保育事業	4,806	4,275	+12.4%
合計	11,110	9,792	+13.5%

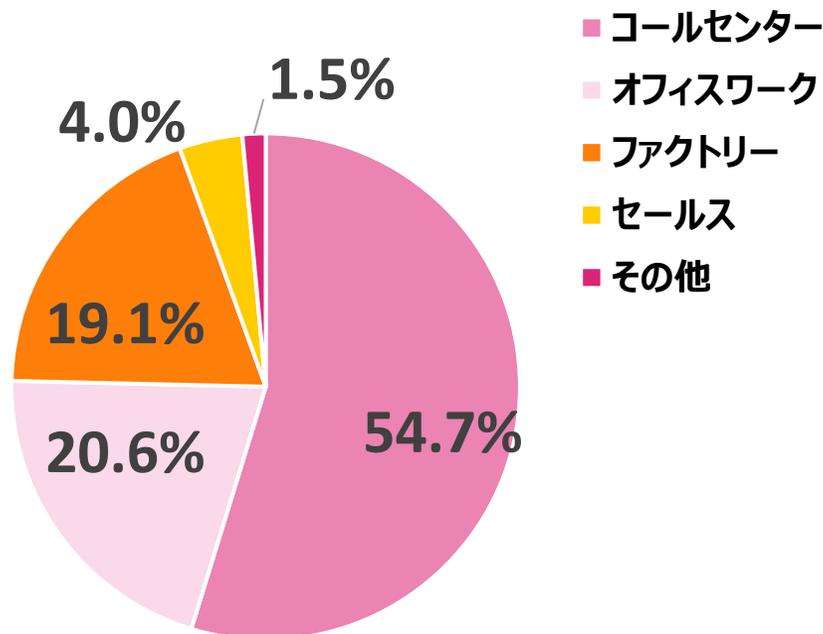
就労支援事業 売上計画と業種内訳

- ✓2023年5月期中に採算性向上のため福祉人材紹介事業から撤退（2023/5期の売上高5百万円）、人材派遣事業に集中
- ✓人手不足感の強いサービス業への新規開拓を進め、足元の業績は順調に推移
- ✓営業活動強化の一方、2023年3月から派遣登録者数の増加策に着手

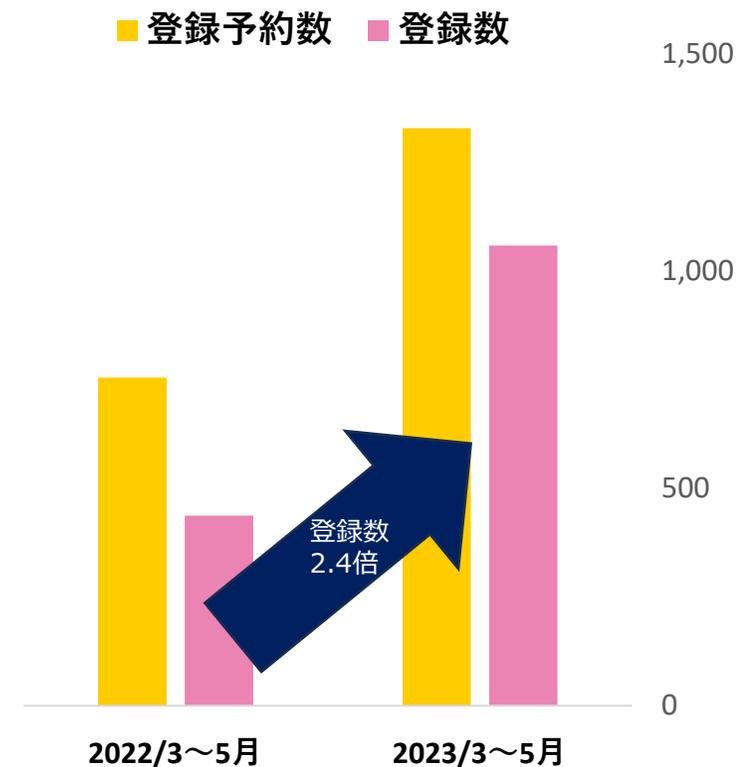
<売上高推移（百万円）>



<2023/5期 職種別売上高比率>



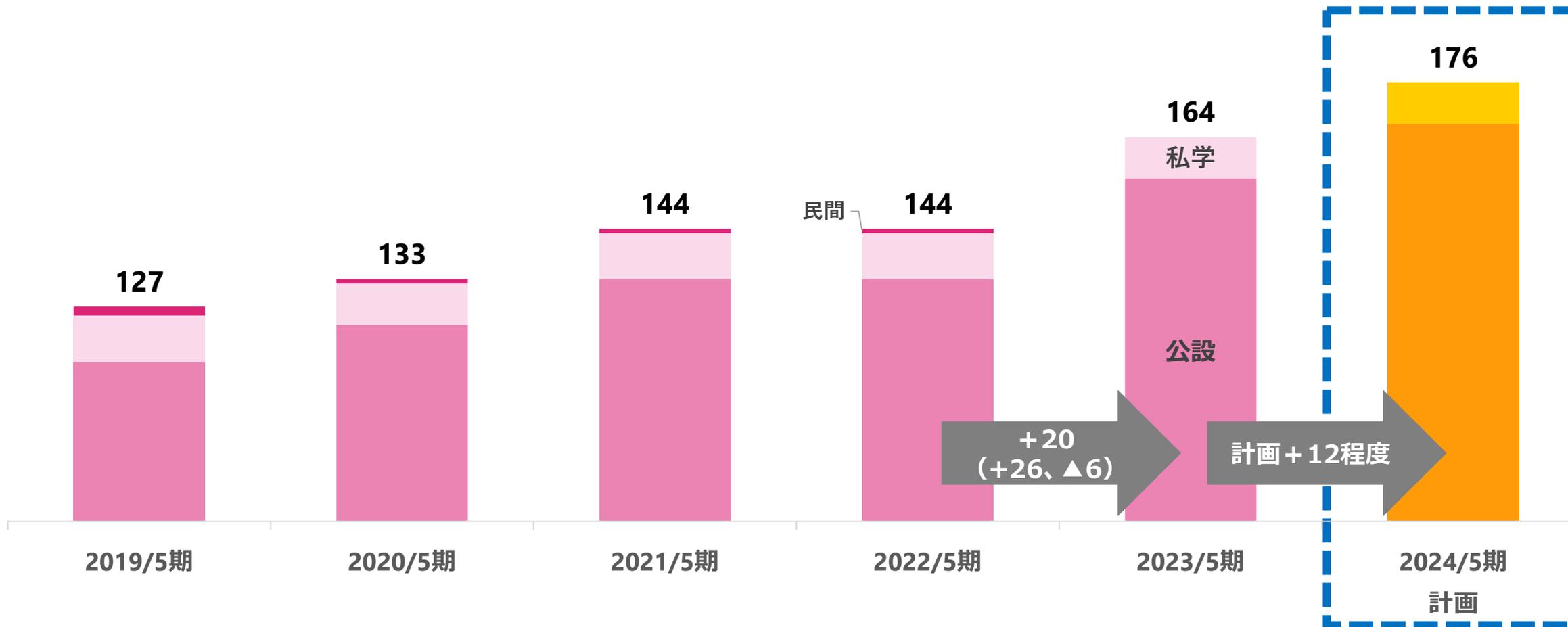
<派遣登録者の前年比較（人）>



✓2024年5月期に12施設程度の開設を目指す

✓2023年5月末 164の放課後施設を運営

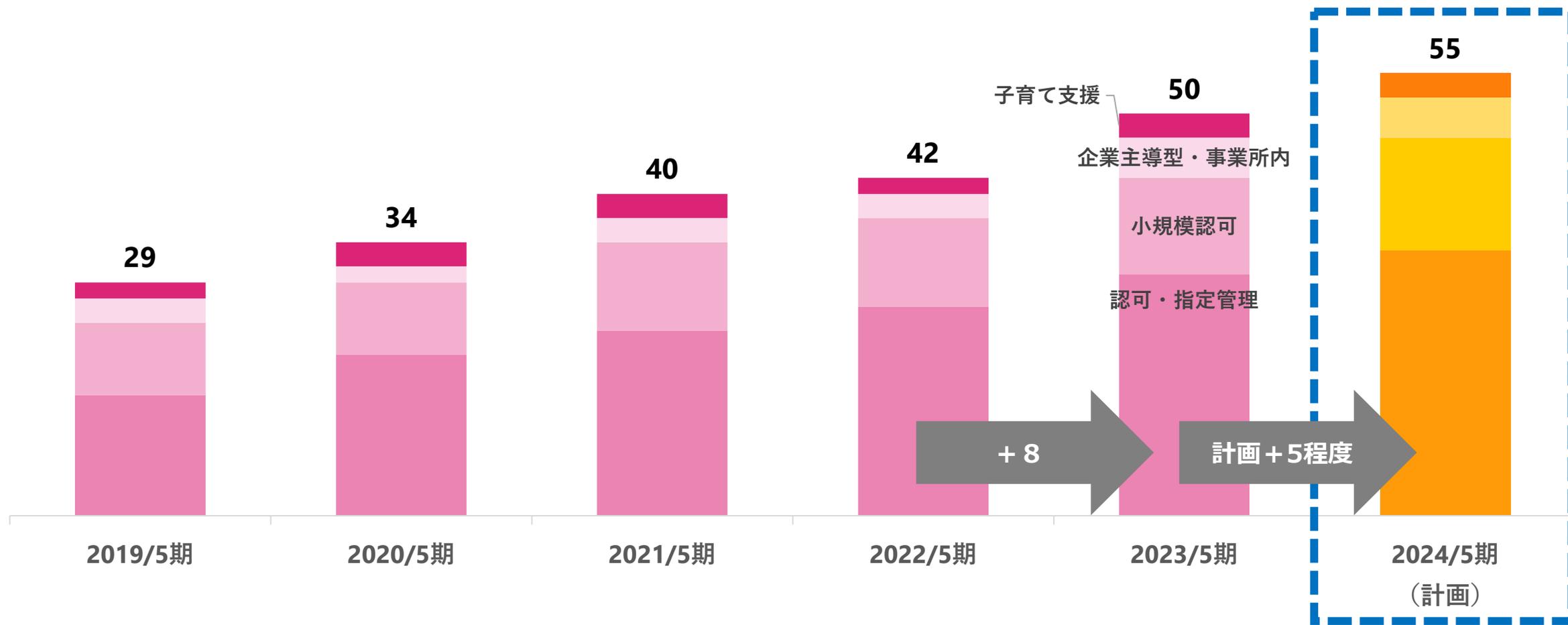
増減内訳：増加…新規開設26施設（全て公設受託） 減少…公設4施設、私学1、民間1（契約満了等）



✓2024年5月期に5施設程度の開設を目指す

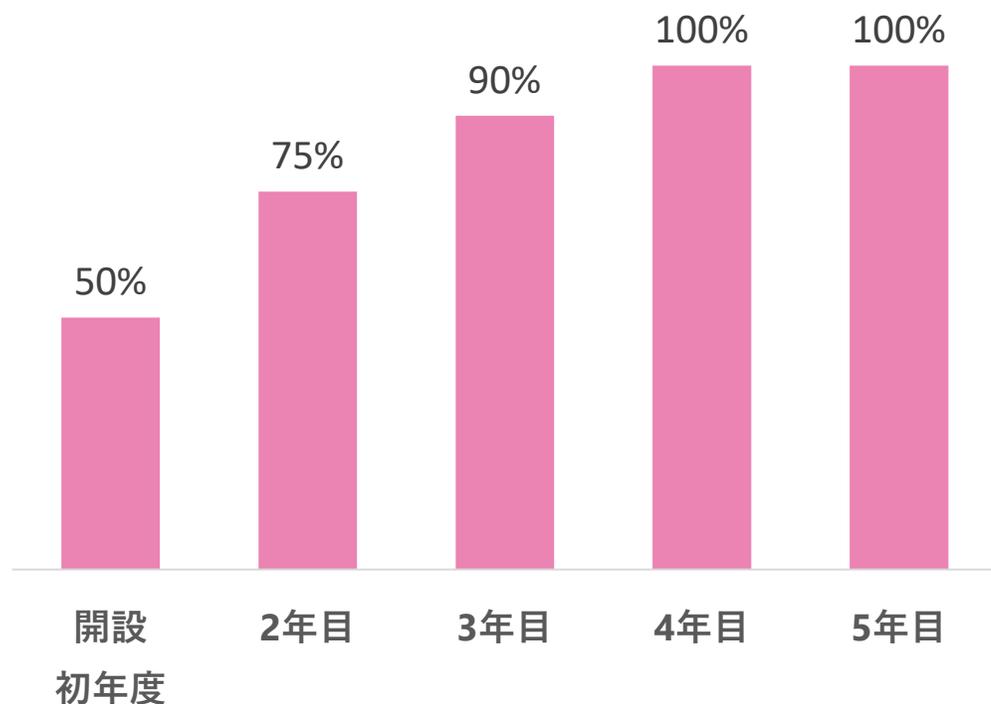
✓2023年5月末 50の保育施設を運営

増減内訳：増加…新規開設8施設（認可3、指定管理1、小規模1、事業所内保育2、子育て支援施設1）

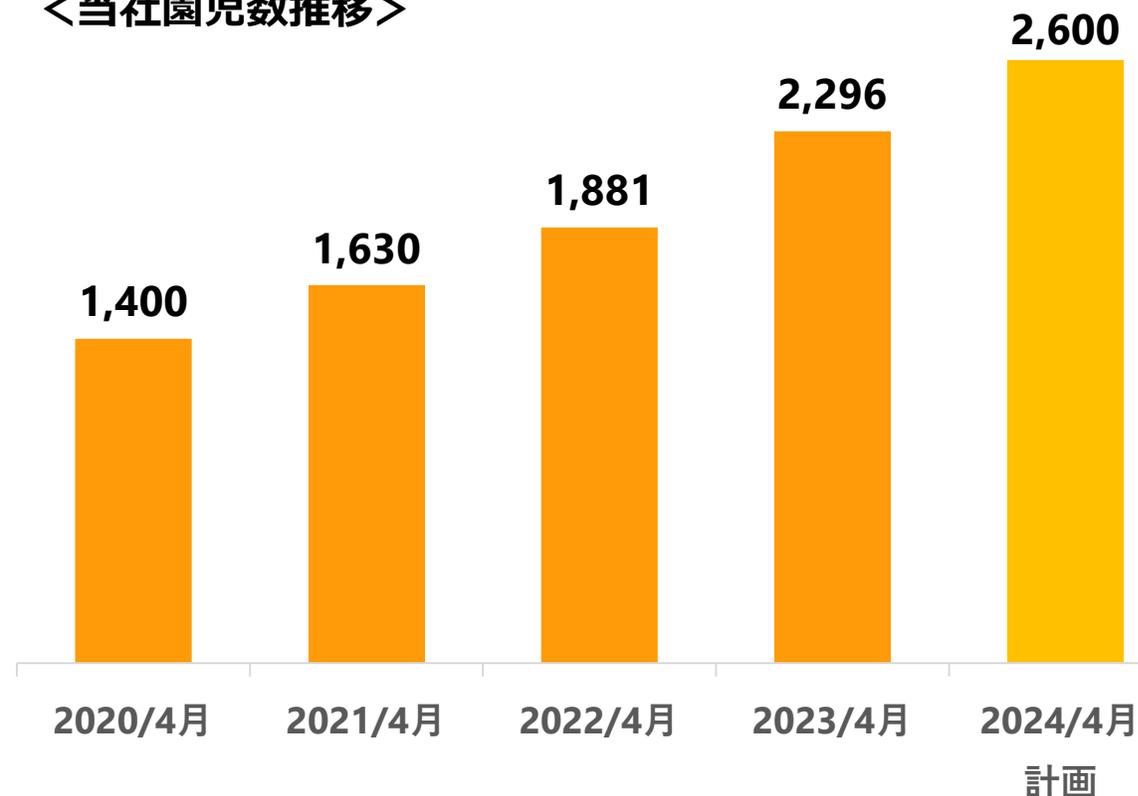


- ✓新設園及び既存園の園児獲得が順調に進捗
- ✓年度途中での園児数増に向け、引続き月次で保育園児数のKPI設定とモニタリングを実施していく
- ✓新規開設初年度は「0、1、2歳児」の受入れが主→年度を追うごとに充足率が上がる
- ✓売上は園児数と比例

<園児数充足モデル>

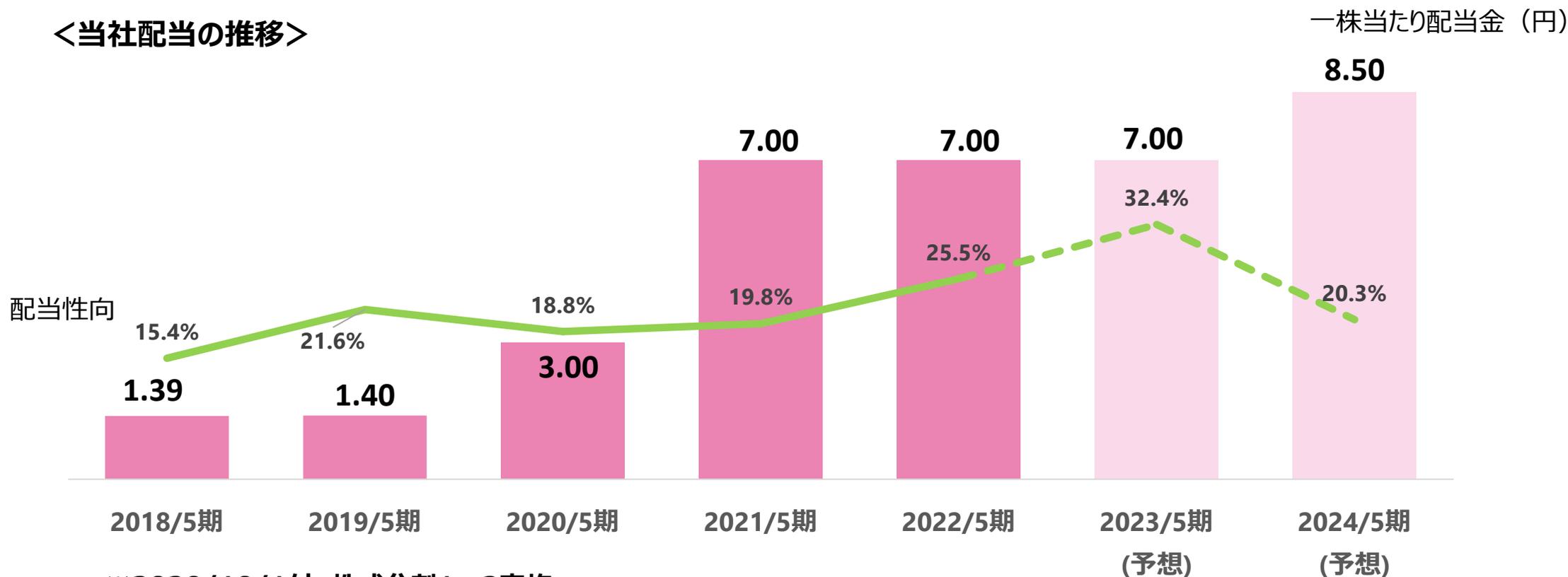


<当社園児数推移>



- ✓業容拡大に向けた投資ならびに内部留保の充実を図りながら、継続的・安定的に配当を行うことを基本方針とする
- ✓配当性向20%を当面の目標とする
- ✓2024年5月期は、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続する

<当社配当の推移>



※2020/10/1付_株式分割1:2実施
 グラフの2020年5月期以前の実績は、株式分割後の値で換算

内閣府は 保育、放課後の受け皿確保をベースに
2025年女性就業率82%と目標設定（2022年72.4%※）
当社事業領域は政策とリンクしている

政府の動き	政策カテゴリ	女性就業	育児両立支援制度の確立	
	現行政策	女性就業率80%	保育	放課後
	2020年12月発表 「新子育て安心プラン」	2025年 女性就業率82%	2020年度末 待機児童解消 ✓目標達成できず	2023年度末 受入児童数 +30万人 学童クラブ定員拡大
	2023年4月 こども家庭庁創設	こどもの視点・子育て当事者の視点に立った政策の企画立案・総合調整等		
	2023年6月 「こども未来戦略方針」案	「こども・子育て支援加速化プラン」～今後3年間の集中的な取組～		
当社事業	就労支援事業	保育事業	放課後事業	

※総務省統計局 労働力調査（基本集計）2022年平均より

中期経営計画 2024~2026

- ✓2023年4月新規開設が寄与する見込みのため、施設数計画を前倒しし、売上高計画を上方修正
- ✓2026年5月期 関わる家族21万人の笑顔をつくる・・・売上高 137億円 営業利益 7.6億円 を目指す
- ✓3事業強化+新規事業開発による多角経営、本部人員も強化し安定した拡大期へ

(百万円)

	2023/5月期		中期経営計画	
	修正計画	実績	2024/5月期	2025/5月期
売上高	9,640	9,792	10,800	12,000
営業利益	160	207	444	660
営業利益率	1.7%	2.1%	4.1%	5.5%

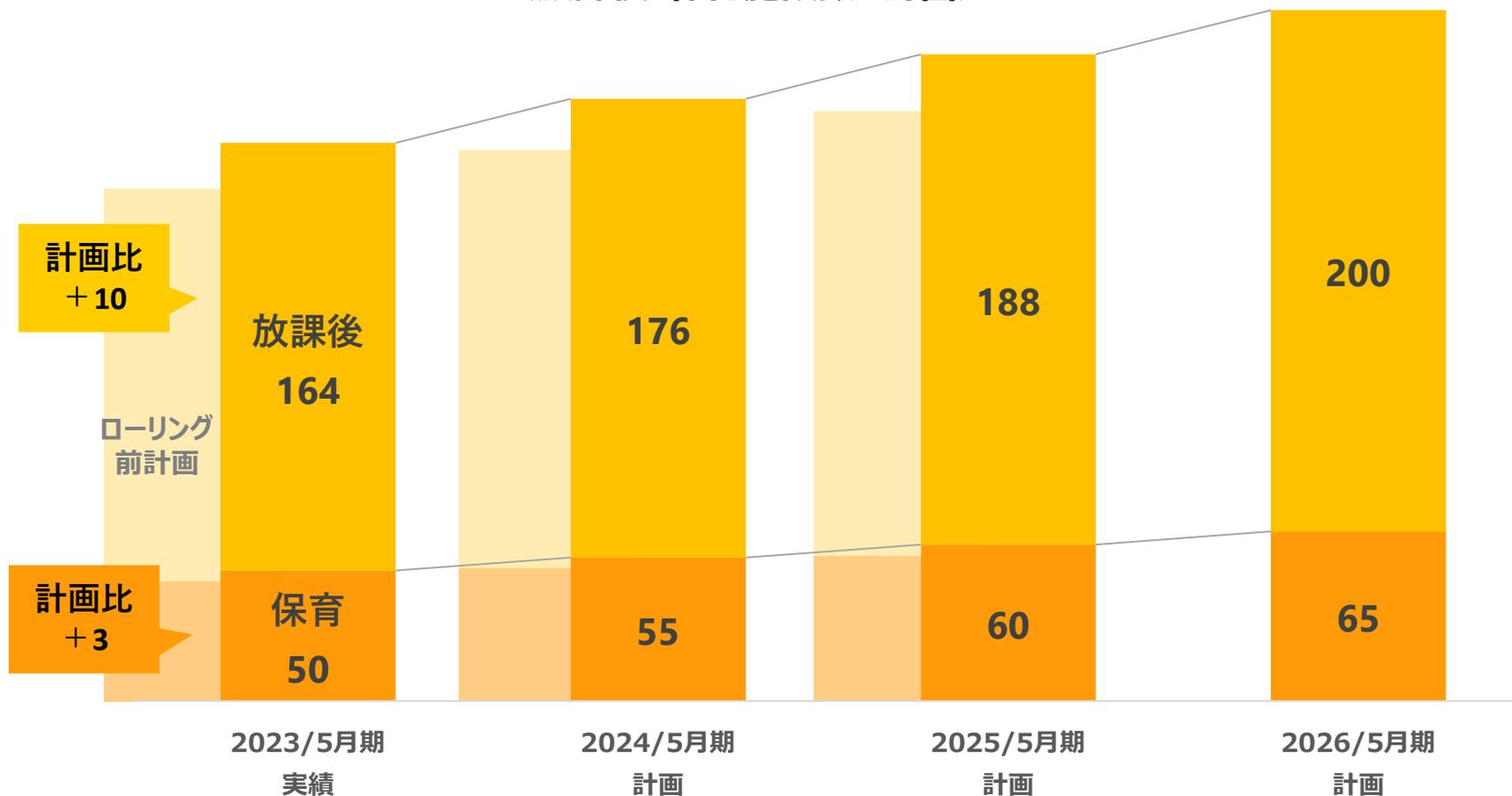
ローリング

	実績	中期経営計画			
		2023/5月期	2024/5月期	2025/5月期	2026/5月期
売上高	9,792	11,110	12,600	13,750	
営業利益	207	439	615	766	
営業利益率	2.1%	4.0%	4.9%	5.6%	

✓放課後、保育ともに運営実績が評価され新規施設獲得が順調に進む

✓放課後は高止まりしている待機児童問題を解消すべく需要は継続する見込み。保育は待機児童・保留児童が見込まれる地域を中心に開設を進めていく

＜放課後・保育施設数 計画＞

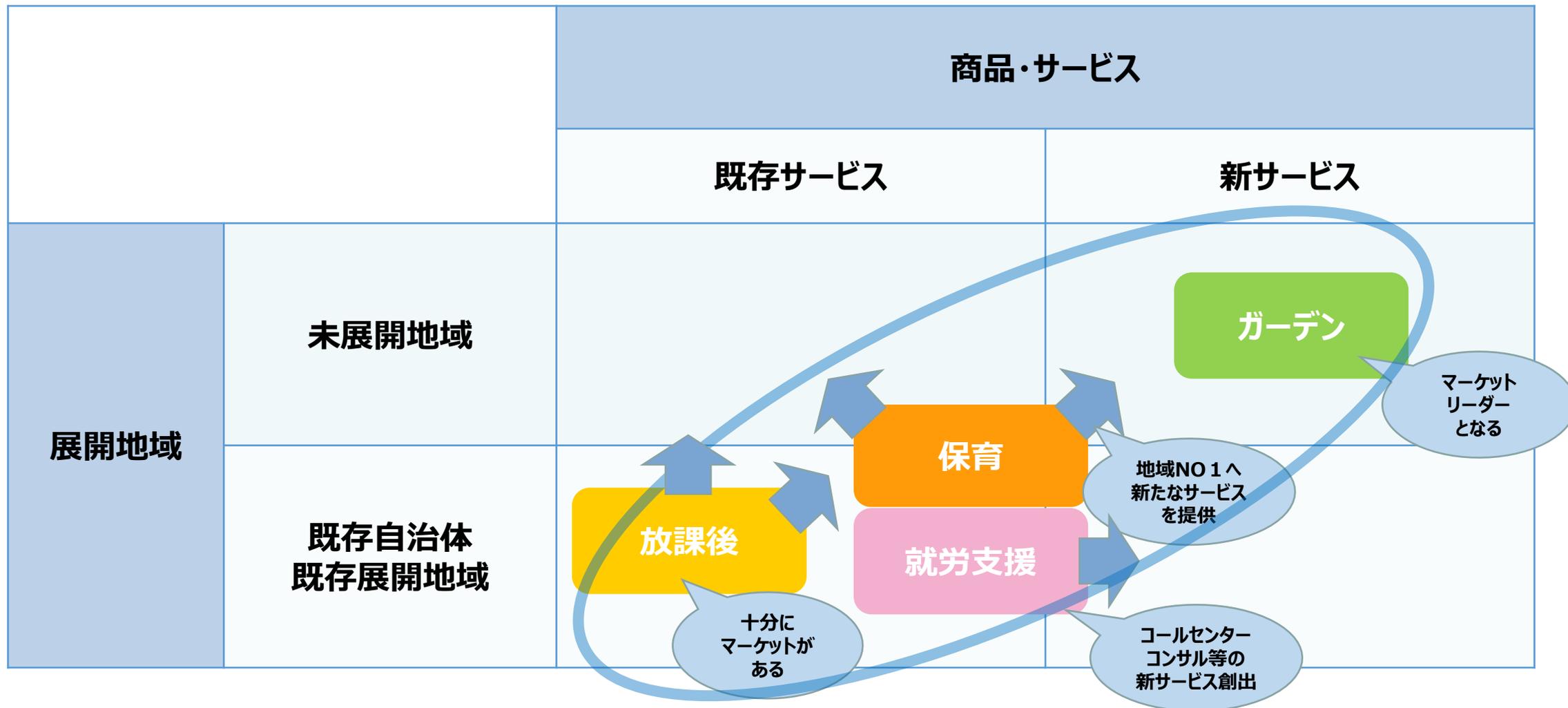


	2022/5月期末	2023/5月期末
セリオファミリー	11万人	○13.5万人
グループ連結	売上高91億円 営業利益2.3億円	○売上高97億円 ×営業利益2億円
就労支援 稼働スタッフ	915名 うち主婦率80%	△988名 ○うち主婦率85%
放課後施設数 登録児童数	144施設 20,825名	○164施設 ○25,954名
保育施設数 利用園児数	42施設 1,894名	○50施設 ○2,336名
セリオガーデン 累計施工・メンテ数	18施設	○40施設



2026/5月期末
関わる家族21万人の笑顔をつくる
売上高137億円 (2023年5月期比+40%) 営業利益7.6億円 (同+274%)
1,300名 うち主婦率8割
200施設 30,400名
65施設 2,917名
累計施工&メンテナンス施設数 300

- ✓2026年の次の3年、10年先を見据え、グループ全体で新しいサービスや新しい地域への進出を行う
- ✓M&A、業務提携、新規事業の検討を継続



✓中期経営計画の戦略に沿って各部門進捗中

✓放課後・保育ともに東海エリアへのドミナント展開強化及び新規自治体への進出 (2023年4月開設)

	ありたい姿	中期戦略骨子	進捗トピックス (2023年5月期)
コーポレート	2025年5月期 関わる家族17万人 の笑顔をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 各種システム投資による業務効率化 横断での育成・能力開発・配置 働きやすい環境づくり ワーク・ライフ・バランスの実現 	<ul style="list-style-type: none"> GLTD保険導入 新卒者向けメンター制度導入 役職別研修開始 育休復帰者向けメンター制度導入 セリオグループとして「ハタラクエール2023 福利厚生推進法人」に認証 新たな能力開発支援策の検討 (2023年6月リリース) ★NEW
就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 主婦が「働きたい」と思ったら「sacaso」※ 主婦の働きやすさNO.1を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 主婦向けパートタイム派遣特化 企業へのコストダウン提案 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣スタッフへのリフレッシュ休暇付与 sacaso派遣のサービスが「日本子育て支援大賞2022」を受賞
放課後	「明日も来たい」 子どもの笑顔があふれる 安心・安全な施設	民間へ運営移管自治体への ドミナント展開	<ul style="list-style-type: none"> ドミナント展開に向けた本部人員増強 中期的な施設増に向けた人材の早期確保、育成強化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【2023年4月開設施設トピックス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東海エリアへのドミナント展開強化 新規自治体への進出 </div>
保育	「通わせたい・働きたい」 地域NO. 1 保育園	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童顕在化地域への展開 選ばれる施設づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 初の公立保育園の運営委託を受託 園長主導のテーマ別横断委員会 (質向上・コミュニケーション活性化他)
セリオ ガーデン	<ul style="list-style-type: none"> 「緑のじゅうたん」ならセリオガーデン 業界第一人者の地位確立 	<ul style="list-style-type: none"> 新規顧客開拓100施設 定期メンテナンス体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 高校グラウンド大型受注 東京進出により首都圏エリア拡大開始 春施工開始 (施工ピークを年1回→複数化へ)

※sacaso…就労支援事業の事業ブランド名

“家族の笑顔”があふれる豊かな未来へ

持続可能な社会の実現のため、全ステークホルダーとの共生を原点にESGに取り組んでいます。

Environment 環境	Social 社会		Governance 企業統治
<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪市グリーンボンド債への投資 ● ICT化によるペーパーレス化推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 放課後施設での廃材を再利用した工作プログラム実施 ● 保育施設への節水機器の設置 <ul style="list-style-type: none"> ● 保育園・幼稚園等の園庭芝生化事業 	<p>ワーク・ライフ・バランス</p>	<p>テレワーク制度 恒久化 時差出勤制度 恒久化 不妊治療休暇制度 年間休日125日以上 時間有給休暇制度 積立有給休暇制度 カムバック制度 ノー残業DAY 男性育休取得促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 社外取締役3名（37.5%） ● 女性取締役1名（12.5%） ● リスクマネジメント委員会設置 ● コンプライアンス委員会設置 <ul style="list-style-type: none"> ● 社内通報制度 ● コンプライアンス研修実施 ● 譲渡制限付株式報酬制度
	<p>女性活躍推進</p>	<p>女性管理職比率70.8% ※1 育児関連福利厚生拡充</p>	
	<p>障がい者雇用促進</p>	<p>「tiku☆tiku」 ※2 「わくわく工房」創設★NEW ※3</p>	
	<p>健康経営</p>	<p>女性検診全額負担 社内禁煙制度 健康づくりアプリ利用開始★NEW</p>	

※1_2023/5月期実績

※2_保育園向け手作りおもちゃ工房

※3_放課後向けプログラム・イベントのサポートチーム名称

2030年のセリオへ！

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」を目指し、持続可能な企業価値の向上に努めています。

SDGsへの取組みを通して、事業の持続的な発展と新たな事業展開を推進しています。

4 質の高い教育を
みんなに



【放課後】

子どもたちにSDGsの理解を
促進するプログラムを実施



5 ジェンダー平等を
実現しよう



【全社】

- 女性の就業と育児をサポートする事業展開
- セリオグループで働くすべての従業員が活躍できる働きやすい職場環境づくり



8 働きがいも
経済成長も



【保育】

- 保育士資格支援制度
- 花王グループカスタマーマーケティング様と連携し、紙おむつの定額サービスを提供
- 保育園向けの手作りおもちゃを制作。障がい者雇用の促進、保育士の業務負担軽減



12 つくる責任
つかう責任



【保育】

保育園給食における食品ロスを低減させる取り組み

【放課後】

印刷会社と提携し余剰紙を提供いただき、放課後施設で活用



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



【緑化事業】

保育園・幼稚園・学校への芝生の普及を通しヒートアイランド防止等、環境問題の改善に取り組む



本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、作成時点で取得している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その実現を確約・保証するものではありません。

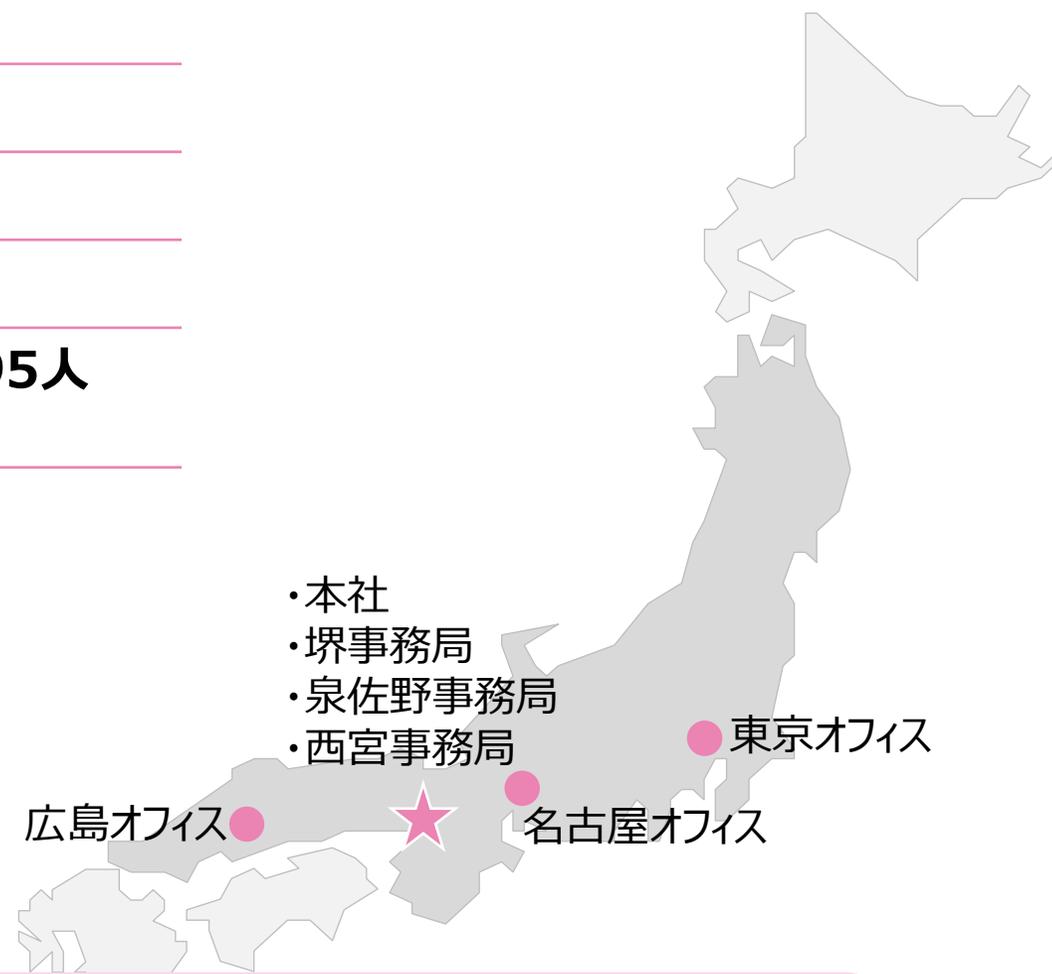
Appendix

社名	株式会社SERIOホールディングス
設立	2016年6月1日
代表者	若濱 久
資本金	693,263千円
従業員数	正社員 920人 パートタイマー等 2,495人 (2023/5月末時点 連結)
本社所在地	大阪市北区

《主要グループ会社》

社名	株式会社セリオ
設立	2005年6月24日

上場証券取引所 東証グロース (証券コード: 6567)



『SERIO』 ポルトガル語で『まじめ』という意味

- | | | |
|-------|-----|--|
| 2005年 | 6月 | 大阪市に(株)セリオ（資本金10,000千円）を設立
子育て中の既婚女性の人材派遣を主とした就労支援事業を開始 |
| 2010年 | 3月 | 小学生を対象とした放課後事業を開始 |
| 2012年 | 4月 | 未就学児童を対象とした保育事業を開始 |
| 2013年 | 12月 | 大阪市北区、淀川区で児童いきいき放課後事業の受託運営を開始 |
| 2014年 | 4月 | 当社初の認可保育園を大阪市都島区に開設 |
| 2016年 | 6月 | (株)SERIOホールディングス（資本金10,000千円）を設立し、(株)セリオを完全子会社化 |
| 2017年 | 10月 | 就労支援事業の新ブランド“sacaso”（サカソ）の運用を開始 |
| 2018年 | 3月 | 東京証券取引所マザーズ市場（現 グロース市場）に上場 |
| 2020年 | 12月 | (株)セリオの子会社である(株)クオーレを(株)セリオガーデンに社名変更 2021年1月より 緑化事業開始 |
| 2023年 | 4月 | 放課後164施設 保育50施設 合計214施設運営 |

(百万円)

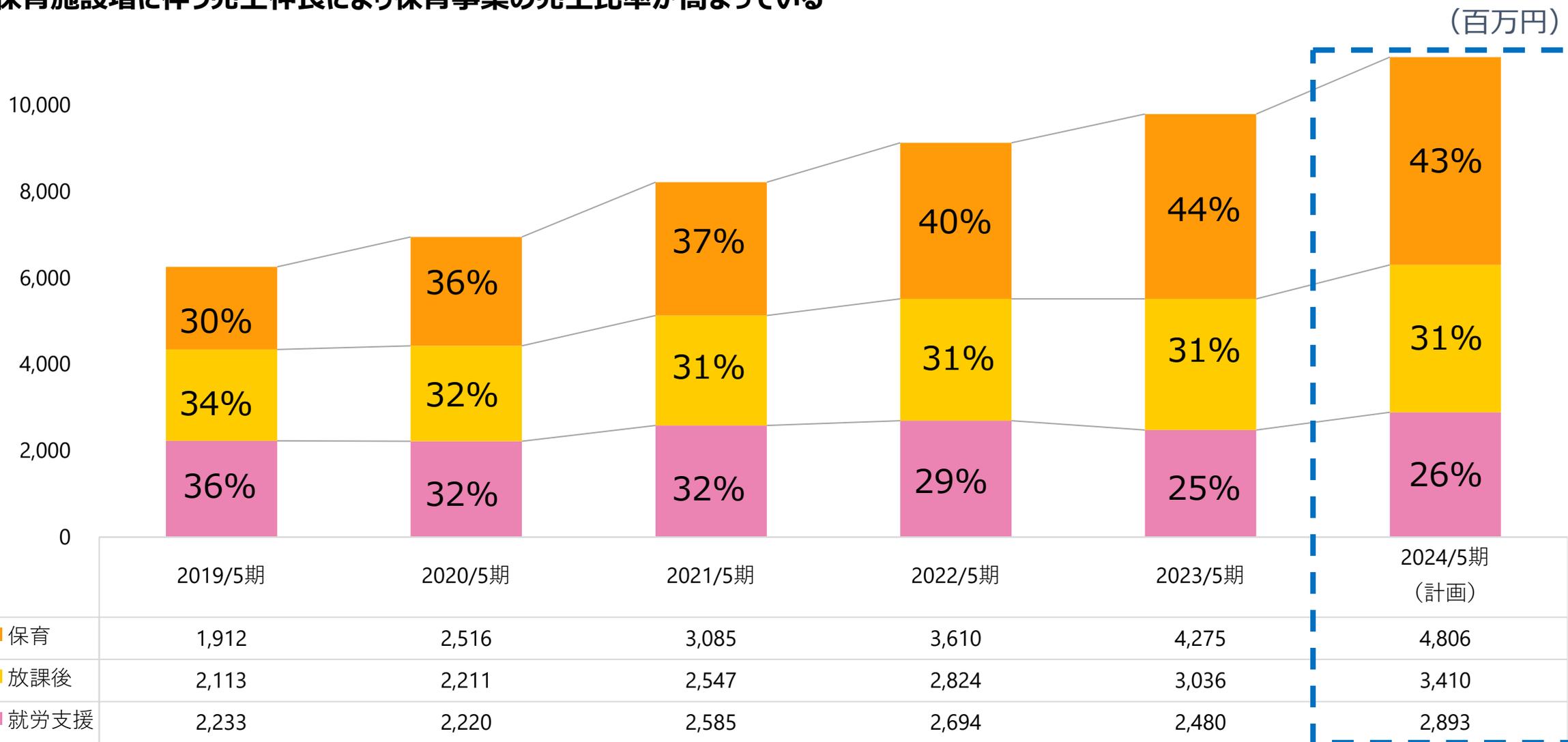
	2022/5月末		2023/5月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	2,675	57.8%	2,752	55.0%	+76
現金及び預金	1,869	40.4%	1,900	38.0%	+30
固定資産	1,951	42.2%	2,250	45.0%	+298
有形固定資産	1,421	30.7%	1,635	32.7%	+214
資産合計	4,627	100.0%	5,002	100.0%	+375
流動負債	1,388	30.0%	1,453	29.1%	+64
短期借入金	0	-	0	-	-
固定負債	1,176	25.4%	1,394	27.9%	+218
長期借入金	912	19.7%	1,087	21.7%	+174
負債合計	2,565	55.4%	2,848	56.9%	+282
純資産合計	2,062	44.6%	2,154	43.1%	+92
負債純資産合計	4,627	100.0%	5,002	100.0%	+375

✓有形固定資産
開園予定の保育園にかかる
建設仮勘定が増加

(百万円)

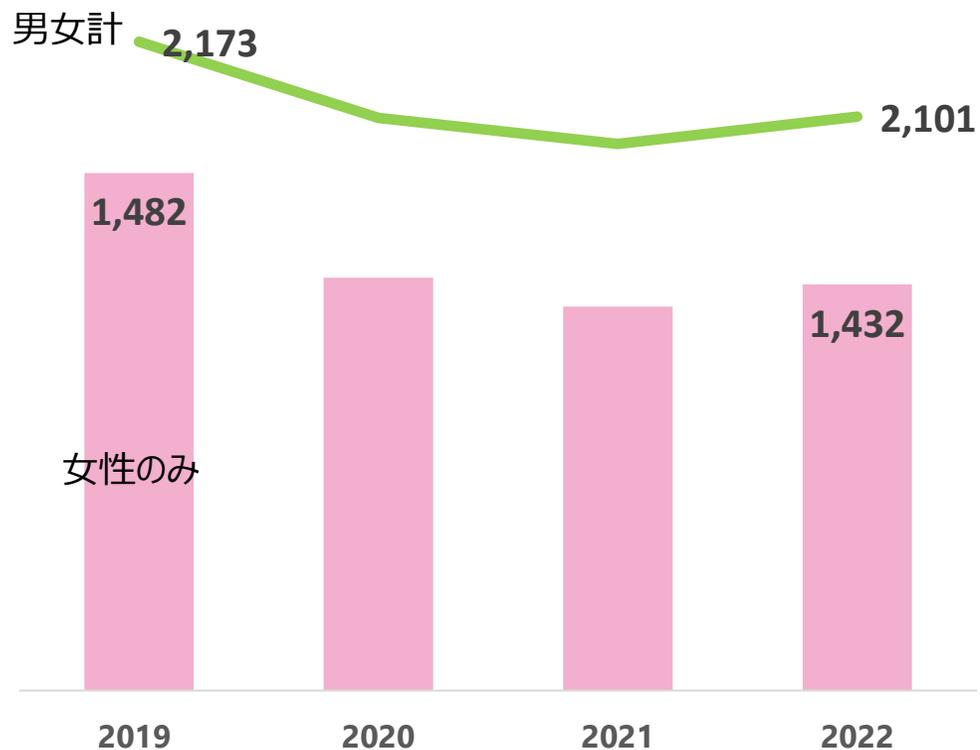
	2022/5月期	2023/5月期	増減額	要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	169	255	85	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184	△366	△181	有形固定資産取得 (保育園開設)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13	142	155	保育園開設にかかる 借入金の増加
現金及び現金同等物の期末残高	1,869	1,900	30	-
フリー・キャッシュ・フロー	△14	△111	△96	-

✓2024/5月期は全セグメントともに過去最高売上を計画
 ✓保育施設増に伴う売上伸長により保育事業の売上比率が高まっている



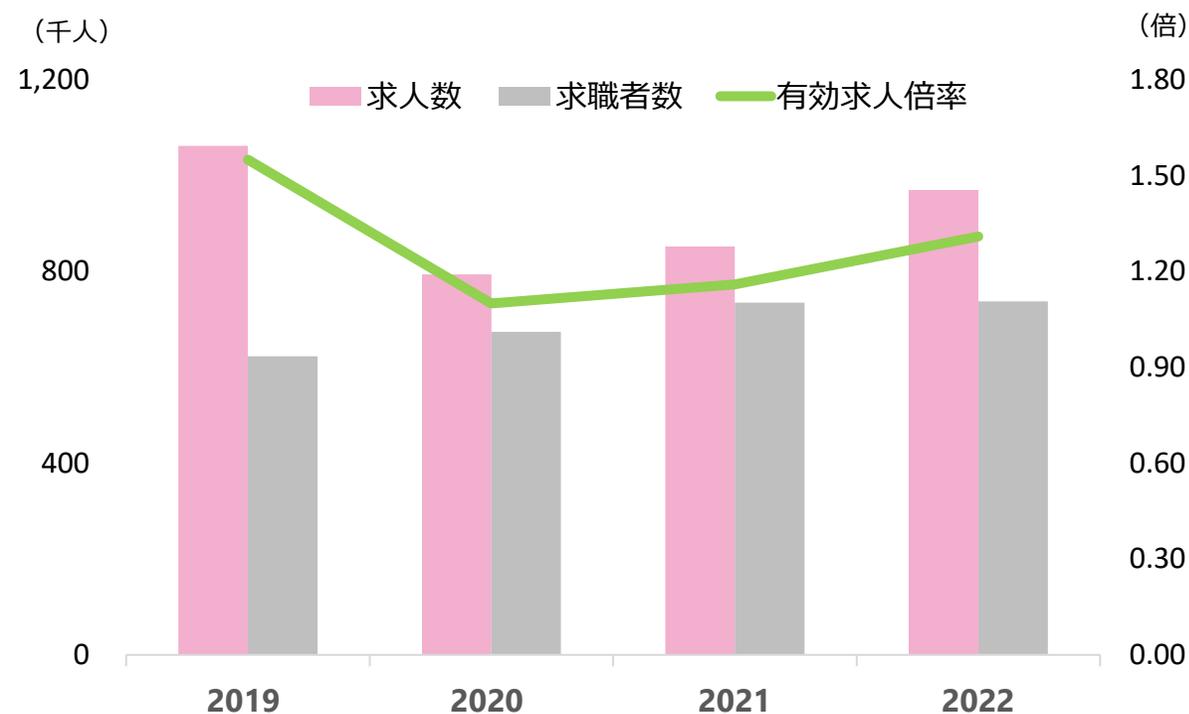
非正規従業員の就業者数はコロナ下の2020年に減少したものの、2021年増加に転じた。
 パートタイマーの有効求人倍率はコロナ前の水準に近づいており、人材需要は旺盛だが派遣スタッフ確保は厳しくなっている。

＜非正規の職員・従業員数推移（万人）＞



厚生労働省「労働力調査 2022年度」より

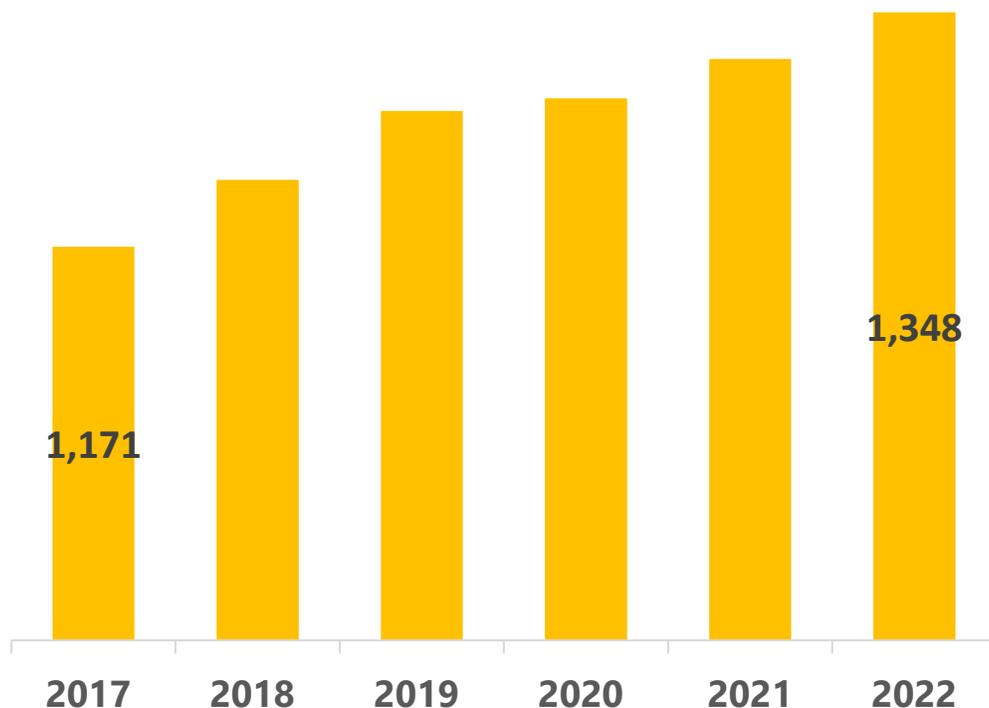
＜パートタイマーの求人・求職者数推移＞



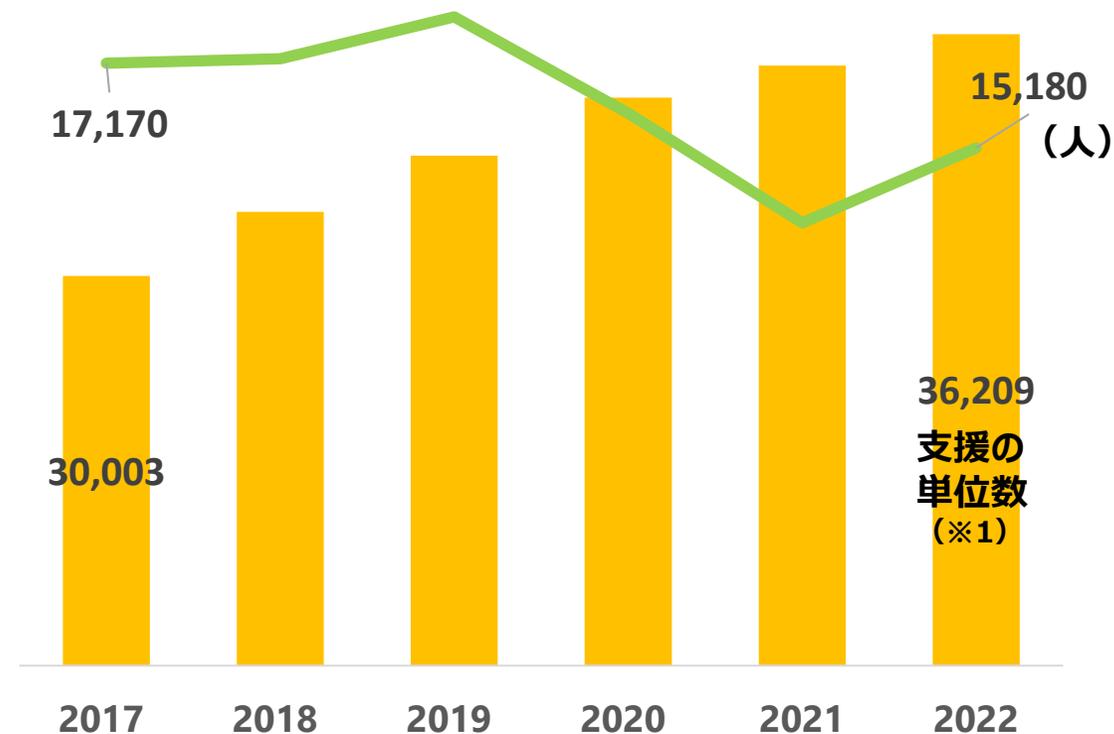
厚生労働省「一般職業紹介状況[実数] (パート) (令和4年分)」より

2022年は登録児童数が過去最高となり、学童の支援の単位数（※1）も増加。2020～2021年に一時的なコロナ影響による利用控えはあったものの、再び待機児童数が増加に転じ、需要には追いついていない状況。今後の市場拡大余地が大きい。

<登録児童数の推移（千人）>



<学童の支援の単位数（※1）と待機児童数（人）の推移>

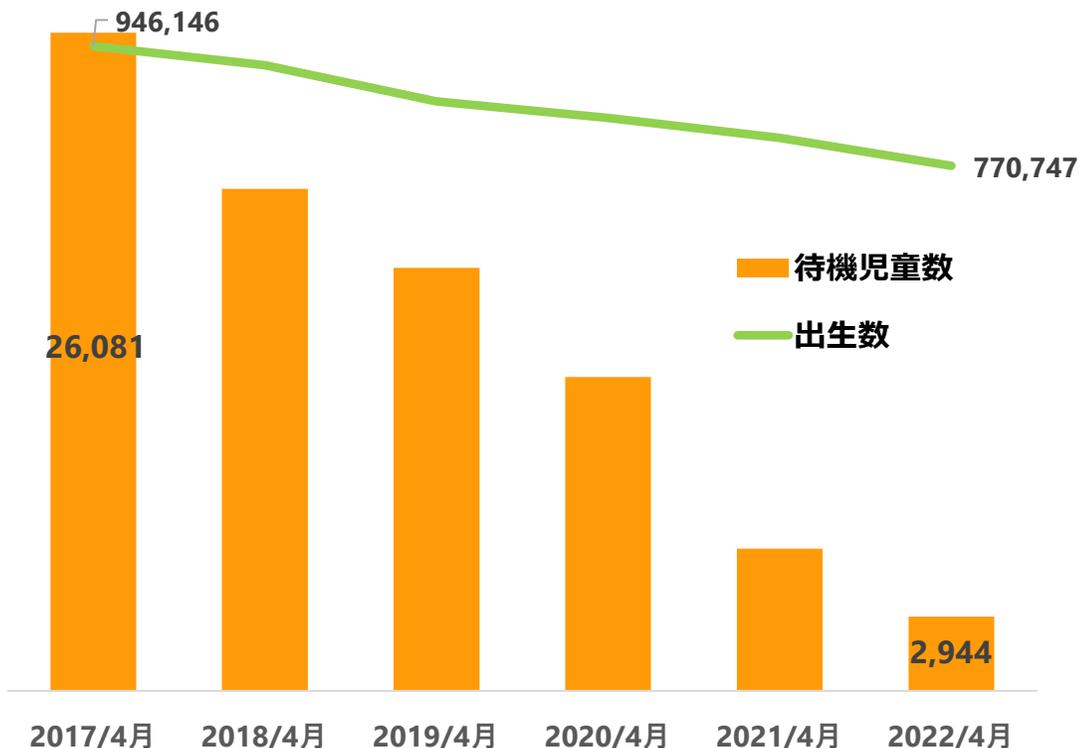


厚生労働省「2022年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（2022年5月1日現在）」より

※1…「支援の単位」とは、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により、児童の集団の規模を示す基準として2015年度から導入されたものであり、児童の放課後児童クラブでの活動は、この「支援の単位」を基本として行うこととなった。

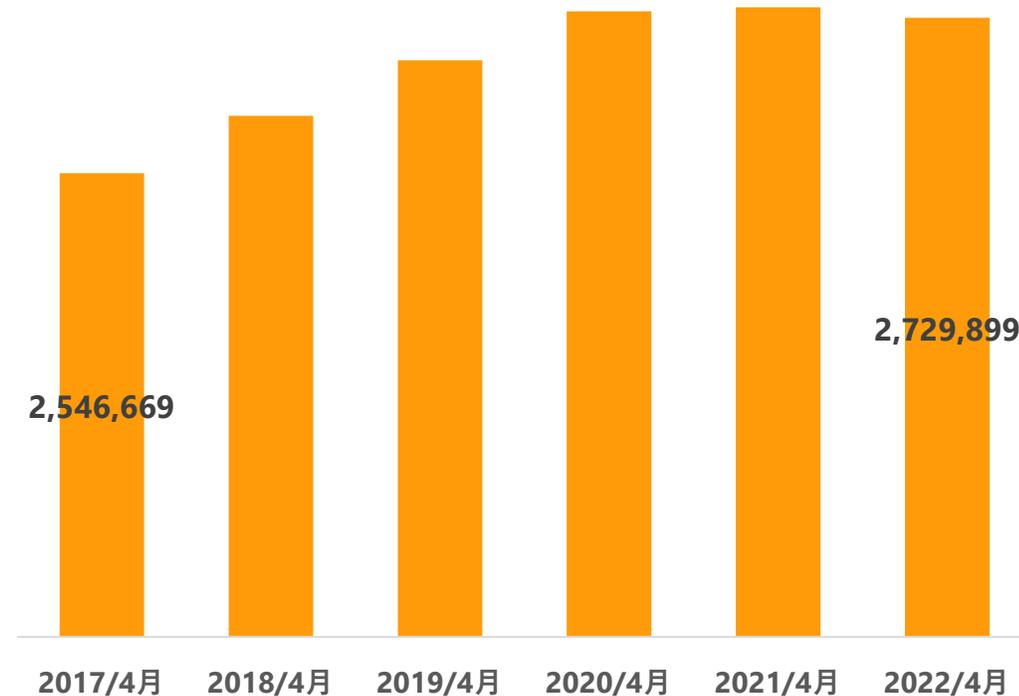
少子化は加速。待機児童数は年々減少しており、2022年4月時点では保育所を利用する児童がはじめて前年を割った。当社は女性の就業率上昇に伴う需要の高い地域に展開していく。

<待機児童数・出生数の推移（人）>



厚生労働省「令和4年（2022）人口動態統計月報年計（概数）の概況（令和4年）」より

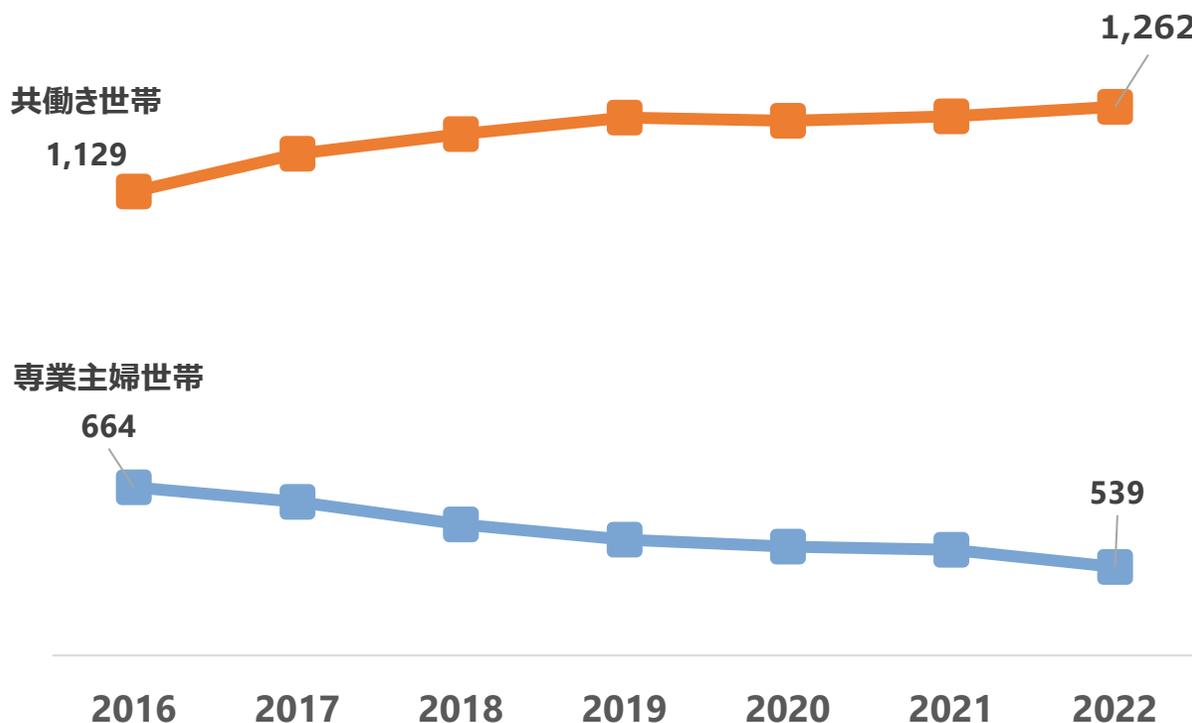
<保育所等利用児童数の推移（人）>



厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」より

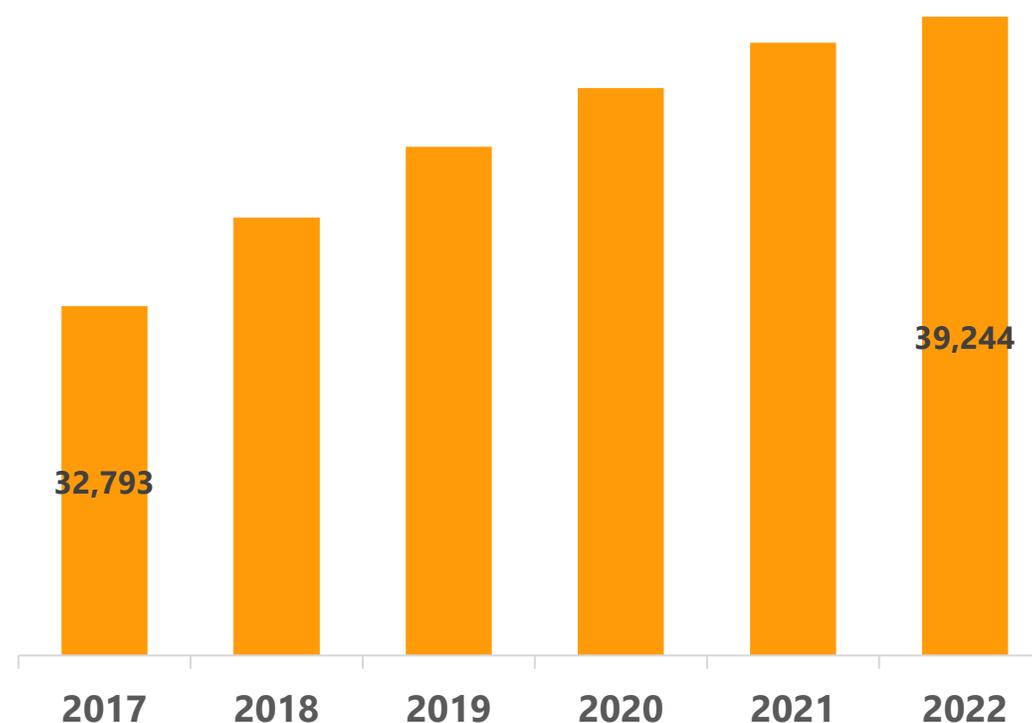
共働き世帯は増え続け、専業主婦世帯の倍以上の水準で推移。保育需要の高まりにより施設数は増加し続けている。

＜共働き世帯数の年次推移＞



総務省「労働力調査（詳細集計）」より

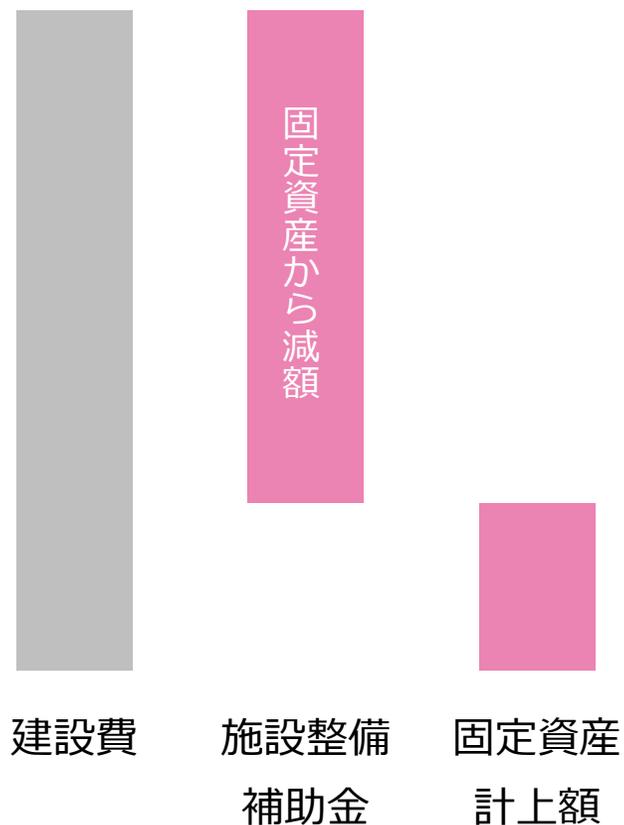
＜保育所等施設数の推移＞



厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」より

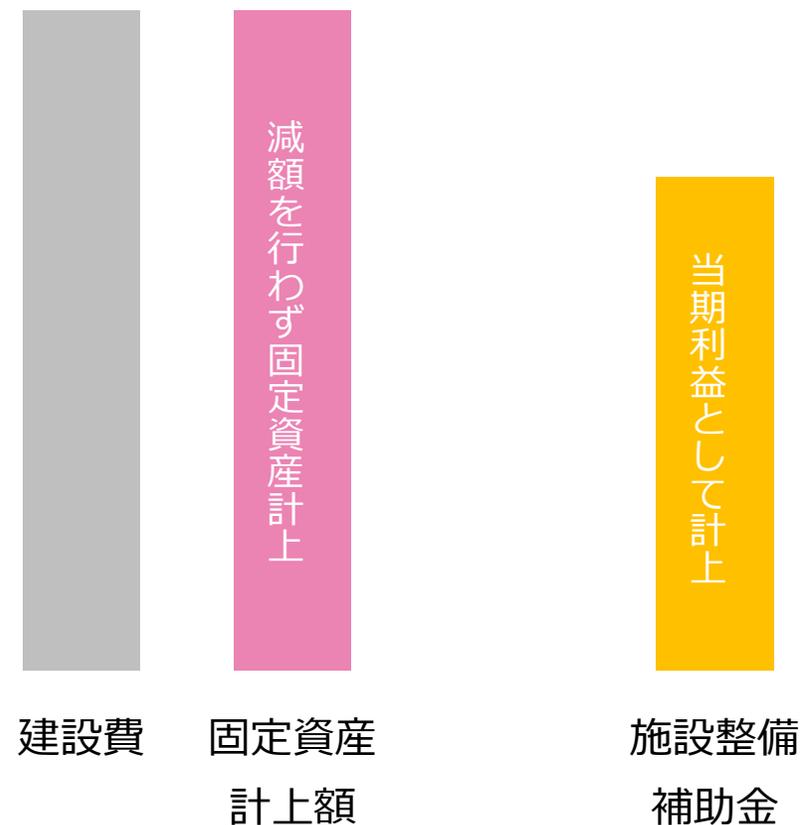
【直接減額方式 採用】※当社会計処理

施設整備に係る補助金をB/S上で反映



【直接減額方式 不採用】

施設整備に係る補助金をP/L上で反映





〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-17堂島グランドビル8F
TEL06-6442-0500
<https://www.serio-holdings.co.jp/ir/>
E-mail : info2@serio-corp.com (経営企画室)